

◇ 令和4年度 指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「老上」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	28,134,189円	/	30,195,389円	事業収益を施設の維持管理に還元し、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	児童にとって、居場所となり、保護者にとって、安心して預けられる学童づくりをする。
施設HPアドレス	https://spokids-gakudo.com/nobikko_oikami/		2年目	29,333,745円		31,654,745円	事業収益に対し、人件費は適切な支払いを実施し、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	児童にとって、第二の居場所となり、安心して過ごせる場をつくる
指定管理者名	特定非営利活動法人スポキッズ		3年目	30,132,432円		33,926,172円	事業収益に対し、人件費は適切な支払いを実施し、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	児童にとって、第二の居場所となり、安心して過ごせる場をつくる
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日		5年目					

●総合評価の基準	
5	☆☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆ 評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆ 評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆ 評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	令和2年4月1日
施設の供用開始日	平成22年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和4年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
目まぐるしく変動していくコロナ禍において、利用者が安全・安心して使用できるよう管理運営に努める。また、そのような中でも利用者のニーズに合わせた事業が少しでも行えるよう創意工夫を図り、保育の質のさらなる向上に努める。		概ね適切な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に全職員が共通理念の基で取り組んでいき、安全・安心な管理運営が行われている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、感染リスクレベルに応じた保育を行った。特に、感染者数軽減期においては利用者が納得できる範囲での行事の中身を再検討し、規模を拡大しつつ感染対策も行うなど、工夫を欠かさなかった。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に沿った職員配置を行い、安全、安心な保育の実施に努めた。しかしコロナウイルス感染症の影響もあり、職員体制は大幅に変更になった。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、定員を超える弾力運用での受け入れも行い、児童福祉の推進に協力いただけた。研修にも積極的に参加され、支援員の資質向上に努められた。
	☆☆☆☆☆	研修に関しては、県の研修に参加し、職員の意識と資質の向上に努めた。また、職員による施設内研修を実施し、チームワークと資質向上に取り組んだ。	☆☆☆☆☆	
	下半期評価	基準に対し、できる限りゆとりを持った職員配置とし、更なる保育の充実に努めた。研修に関しては、県と市が実施する研修に加え、施設内研修も行い、職員の意識と資質の向上に努めた。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、定員を超える弾力運用での受け入れも行い、児童福祉の推進に協力いただけた。研修にも積極的に参加され、支援員の資質向上に努められた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	コロナウイルス感染症の状況を踏まえた保育を前提にし、やみくもに中止するのではなく、新たな方法で実施出来ないかと検討する方向で季節行事や毎月行事を進めた。保育内容の充実に努めた。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時期に合ったイベントを実施された。児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの棚に保管し、適正な管理をされていた。
	☆☆☆☆☆	個人情報を含む書類等は鍵のかかる書庫に保管し、管理を徹底した。	☆☆☆☆☆	
	下半期評価	コロナウイルス感染症の状況を踏まえた保育を前提にし、やみくもに中止するのではなく、新たな方法で実施出来ないかと検討する方向で季節行事や毎月行事を進めた。保育内容の充実に努めた。個人情報を含む書類等は鍵のかかる書庫に保管し、管理を徹底した。	下半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時期に合ったイベントを実施された。児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの棚に保管し、適正な管理をされていた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月のおたよりの配布により、家庭への連絡を行った。また必要に応じて個別面談を実施し、保護者との相互理解に努めた。保護者が回答しやすくなるように新たなシステムを導入した。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子や連絡事項を伝えられた。おたよりは2種類(印刷したモノと手書きのモノ)作成し、保護者にわかりやすく伝えたい場合は、手書きで作成するなど工夫されていた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	必要に応じて個別面談を実施し、保護者との相互理解に努めた。入室時刻やメッセージを管理できるアプリを導入し、保護者からの連絡方法が多様となるようにした。日頃のお迎え時のやり取りに加え、通信の活用を行い子どもの様子や大切な連絡についてはより詳しく伝わるよう工夫し努力した。	下半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子や連絡事項を伝えられた。おたよりは2種類(印刷したモノと手書きのモノ)作成し、保護者にわかりやすく伝えたい場合は、手書きで作成するなど工夫されていた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	月1回実施の日常点検と、消防設備等の点検を行った。怪我や事故の未然防止のため、職員間で日々の保育ミーティングで子どもの様子等について周知徹底し、安全な保育に努めた。職員による一斉清掃を行い、同時に危険箇所等の確認を行った。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々の保育ミーティングにおいては、児童の様子等の共有を徹底し、清掃時には危険な箇所の確認を行いながら、安全な保育が保たれるように努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	月1回実施の日常点検と、消防設備等の法定点検を行った。怪我や事故の未然防止のため、職員間で日々の保育ミーティングで子どもの様子等について周知徹底し、安全な保育に努めた。職員による一斉清掃を行い、同時に危険箇所等の確認を行った。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて避難訓練を実施された。日々の保育ミーティングにおいては、児童の様子等の共有を徹底し、清掃時には危険な箇所の確認を行いながら、安全な保育が保たれるように努められた。
☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆		